

製品名: Cdc42EP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08519**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC42EP2
別名	CDC42EP2; BORG1; CEP2; Cdc42 effector protein 2; Binder of Rho GTPases 1
遺伝子 ID	10435.0
SwissProt ID	O14613
免疫原	抗血清はヒト BORG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

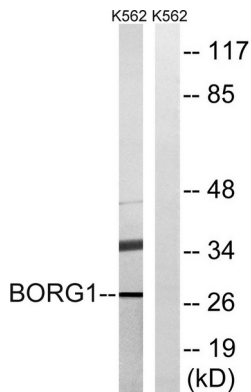
CDC42 は、小型の Rho GTPase であり、下流のエフェクタータンパク質との相互作用を通じて、F-アクチンを含む構造の形成を制御します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CDC42 エフェクタータンパク質の Borg ファミリーのメンバーです。Borg

ファミリータンパク質は CRIB (Cdc42/Rac 相互作用結合) ドメインを含み、CDC42 に結合してその機能を負に制御します。このタンパク質と CDC42 の共発現は、このタンパク質がアクチンフィラメントの集合と細胞形状制御に関与していることを示唆しています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月],ドメイン: CRIB ドメインは CDC42 との相互作用を媒介します。機能: おそらくアクチン細胞骨格の組織化に関与しています。CDC42 の下流で作用し、アクチンフィラメントの集合を誘導して細胞形状の変化につながる可能性があります。CDC42 依存的に線維芽細胞における仮足形成を誘導する。類似性: BORG/CEP ファミリーに属する。類似性: 1つの CRIB ドメインを含む。サブユニット: GTP 依存的に RHOQ および CDC42 と相互作用し、SEPT7 とも相互作用する。組織特異性: 心臓で高発現。脾臓および肝臓で弱発現。

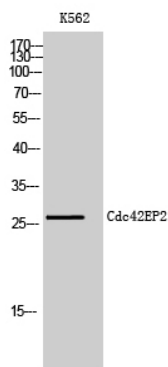
研究分野

-

画像データ



BORG1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Cdc42EP2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析